

生月まち協 だより

第56号

令和3年12月15日発行



生月地区まちづくり
運営協議会

TEL/FAX 0950-29-9080



「喫茶店きないよ」より (記事参照)

まち協活動報告

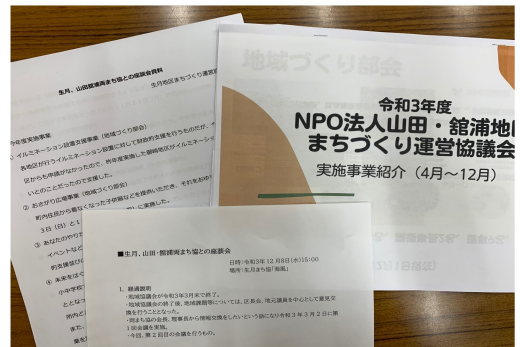
役員会

12月1日（水）役員会を開催しました。
今年度事業の代替案について議論しました。
その中で「あなたの生月絶景ポイント教えてください!!」の入選作品を使った来年のカレンダーを作成し、全戸配布する事も決定しました。
是非、ご家庭でご活用ください!!



山田・館浦まち協との座談会

12月8日（水）山田・館浦地区まちづくり運営協議会との座談会を開催しました。
昨年度よりお互いの活動内容などについて意見交換を行っています。同じ町内でも地区によって課題は様々で、たくさんの質問や意見がでました。
今後も年1回程度開催する事に決まりました。



喫茶店 きないよ

約1年ぶりに開催しました!!

11月29日（月）堺目地区活性化センターにおいて「喫茶店きないよ」を開催しました。
この日は生月小学校4年生がスタッフとして来店者を会場まで誘導したり、飲み物の注文をとってくれるなど積極的にお手伝いをしてくれました。また、自分達で考えてきたゲームで会場を盛り上げ最後はきれいな歌声まで披露してくれました。後日、お礼のお手紙もいただきました。
生月小学校4年生の皆さん、来店者の皆様、ありがとうございました。またのご来店をお待ちしています。



おゆずり会開催

地域づくり部会のおさがり広場事業にて行いました



11月23日（火・祝）事務所『海風』にて第2回おゆずり会を行いました。当日は雨が降ったりやんだりの肌寒い日でしたが、早い時間から並んでくれた家族もいました。今回は前回には提供がなかった、靴・バッグといった小物類や高校の制服などのおさがりが登場。訪れた小学生は「自分にピッタリの服が見つかってよかった。たくさんある服の中から探すのが楽しかった。」と笑顔で話していました。

イルミネーション点灯

地域づくり部会のイルミ設置支援事業にて支援しました



今年も御崎児童遊園にてイルミネーションが点灯されています。11月末に地区の有志の方が集まり、3時間半ほどかけて設置を行いました。今回は富士山や長崎の鐘などをモチーフとした装飾がお目見え。12月5日（日）、カウントダウンの後にイルミネーションが点灯されると、見学に訪れた方から歓声が上がりました。来年の1月5日まで、毎日朝5時30分から7時と17時30分から22時の間点灯しています。

地区防災訓練

12月12日（日）

各地区の企画にて今年度の『防災訓練』を行いました

御崎地区



【訓練内容】 集団避難訓練・初期消火訓練

元触地区



【訓練内容】 初期消火訓練・防災についての講話他

浦北地区



【訓練内容】 初期消火訓練（3カ所に分かれて実施）

浦南地区



【訓練内容】 初期消火訓練

堺目地区・壱部地区は後日訓練を実施予定です。



追加健（検）診のお知らせ

以下の日程で、集団健（検）診の追加健（検）診が実施されます。まだ受診されていない方はぜひご受診ください。

■ 総合健診

特定・後期高齢者・生保・30代健診・胃（午前中のみ）・肺・大腸・前立腺・肝炎
※ただし、生月病院では胃・肺がん検診は実施なし

対象地区	日 程	受付時間	会 場
生月全地区	令和4年1月20日（木）	午前9時～午前11時30分 午後1時～午後3時	生月町開発総合センター
	令和4年1月27日（木）	午後1時～午後2時	生月病院

■ 総合健診+レディース健診

※ただし、骨粗しょう症検診は実施なし

対象地区	日 程	受付時間	会 場
平戸全域	令和4年1月23日（日）	午前9時～午前11時30分	平戸文化センター

※完全予約制です。受診を希望する方は健康ほけん課【 ☎22-9125 】に電話してください。



年忘れ 一斗の酒を 尽しけれ （正岡子規）

年の瀬も迫り忘年会シーズンを迎えました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で遠慮を強いられました。今年はどうなるのでしょうか。この時季は、居酒屋をはじめ飲食店にとって一番のかき入れ時だといえます。今年も、だいぶコロナも落ち着いているので多くの人に忘年会を開いてもらいたいのではないのでしょうか。酒飲みにとっては、職場や親しい人たちでわいわい言いながら食事を楽しむ光景がなくなるのも少し悲しい感じがします。

昭和の時代を生きた小生らは、職場の忘年会は必ず出席するものと教え込まれていましたが、最近では若い人たちの考え方が変化し忘年会自体なくなる方向に進んできていました。それが、コロナの影響で一気に加速し職場の忘年会はほとんどなくなってきたようです。

もちろん仲の良い人たちや親しい仲間での忘年会は開かれているようで、在りようが大きく変わったということでしょう。小生も、20年ほど前から一人で仕事をしているためか、忘年会が一切なくなりました。最初の一、二年はそれまでの忘年会漬けの生活が一変したのですから寂寥感にさいなまれましたが、今ではそれに慣れてしまい欲しくなくなりました。要するに無くても良いものだったのでしょうか。

宴席で胸襟を開き侃々諤々も悪いことではないのではないのですから、新しい形の忘年会が出現するかもしれません。忘年会に限らず人々の生き様がコロナによって大きく移ろう過渡期なのではないかと思う今日この頃です。

（学）

